

3. Changing Minds

ガードナーは人々を説得する、つまり人の心を変える課題にも認知心理学的な側面から取り組んだ。すなわち、人々を従来とは違った考え方で、重要事項に取り組ませるには **Re** ではじまる、7つの要素(テコ)が必要だと述べている。それぞれの要素とは

1. Reason: 理性
2. Resonance: 共鳴
3. Research: リサーチ
4. Real-world events: 現実世界のできごと
5. Resources and Rewards: リソースと報酬
6. Resistances: 抵抗
7. Representational Redescriptions: 表示の再叙述(繰り返し)

である。人の心を変えるために、これらの7つの要素は単独でもしくは他の要素と組み合わせて使用することができる。ガードナーはこのことを次のように例えている。「これら7つの要素はさまざまな環境のもとに異なる組み合わせで、引き抜かれるのを待機している矢筒の中の矢だと思う」(*The Economist*, April 15, 2004)。

一般的に教育には次の2つの要素、“Representational Redescriptions”と“Overcoming Resistance”が重要である。

最初の“Representational Redescriptions”は生徒に新しい概念やコンセプトを教える場合、MI理論で指摘したように何度も、切り口を変え、さまざまな方法で **Intelligences** に訴えるように教えるということだ。そうすると、生徒の心はごく簡単に変えられる。

次に “Overcoming Resistance”である。子供は何かについて固定概念を形成するが、それがしばしば誤解に基づくものであることが多い。教師は生徒が抱いている固定概念を軽視しがちだ。生徒が持つ固定概念の誤った部分に教師が気づき、修正しない限り、生徒はこれらの固定概念を持ち続けるか、誤った部分を新たに増幅させながら、持ち続けることになる。したがって教師は生徒が持つこの種の概念を徐々に修正し、正しい概念を植えつける方法を見つけなければならない。

これら2つのテコにより教師は生徒の心を変えられることができるとガードナーは説明している。

- References -

Harvard Graduate School of Education. (June 1, 2004). *HGSE News*. Changing Minds: The Art and Science of Changing Our Own and Other People's Minds. An Interview with Hobbs Professor Howard Gardner. Retrieved June 6, 2006 from http://www.gse.harvard.edu/news/features/gardner_06012004.html

Gardner, H. (2004, April 15). Changing minds: Might the proper study of management be man? A Harvard psychologist turns his mind to changing yours. [Electronic version]. *The Economist*.